

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和06年09月02日

計画の名称	広陵町都市公園整備事業												
計画の期間	平成30年度 ~ 令和04年度 (5年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	広陵町												
計画の目標	南海トラフ巨大地震などの大災害に備え、防災機能等を強化し、事前防災・減災対策等を実施し、安全安心な公園づくりを目指すとともに、公園施設の整備により公園利用者が快適に利用できる公園づくりを実現させる。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	250	A	250	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 $C / (A + B + C + D)$	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
1	防災機能強化の推進を図るとともに、公園施設の整備を図り、安全安心かつ快適な公園利用を促進する。 防災公園における有効避難地面積の増加 有効避難地面積 / 公園全体面積	H30 25%	R2 32%	R4 39%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------



事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
事業担当課において、数値も苦行の達成状況や事業効果の発現状況を検証した。	令和5年度
	公表の方法
	広陵町HPにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	幸い防災拠点として利用しなければならない機会がまだないが、各団体による防災訓練等に活用いただいている。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	マンホールトイレや太陽電池搭載照明柱の新設、緊急車両の進入路確保により、防災公園としての機能向上を図った。
特記事項（今後の方針等）	

